名前（　　）　日付　　月　　日

公民 基本的人権 新しい人権 国民の義務

問 1　人権の基本と分類

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　人が生まれながらに持つ、人間らしく生きるために欠かせない権利を何というか。	
(2)　一人ひとりをかけがえのない存在として大切にする、憲法の基本的な考え方は何か。	
(3)　人種・信条・性別などによって不当に差別されないという、憲法の原則は何か。	
(4)　国家の不当な干渉を受けず、自由に考えたり行動したりする権利をまとめて何というか。	
(5)　人間らしい生活のため、国に生活や教育などの保障を求める権利の分類は何か。	
(6)　裁判や請願などを通じ、国などに人権の保障や救済を求める権利の分類は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

建物の入り口に階段しかなく、車いすの利用者が入れない。スロープを設けることが平等な利用につながる理由を、利用の機会に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 基本的人権 新しい人権 国民の義務

問 2　自由を守る権利

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　心の中で何を考え、何を正しいと信じるかを、国家から強制されない自由は何か。	
(2)　意見や考えを、言葉・文章・映像などで外に伝える自由を何というか。	
(3)　宗教を信じるかどうか、どの宗教を信じるかを自分で決められる自由は何か。	
(4)　不当に逮捕・拘束されたり、拷問されたりしない自由を何というか。	
(5)　職業の選択や営業、財産の所有などに関わる自由をまとめて何というか。	
(6)　自分の財産を所有し、利用したり処分したりする権利を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

表現の自由が保障されていても、他人の名誉を傷つける発信に制限が必要になることがあるのはなぜか。自分と他人の権利に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 基本的人権 新しい人権 国民の義務

問 3　社会権と政治参加と裁判

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　憲法第 25 条が保障する、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利は何か。	
(2)　能力に応じて、ひとしく教育を受けられることを保障する権利は何か。	
(3)　働く機会を得て、働くことを通じて生活を支える権利を何というか。	
(4)　団結権・団体交渉権・団体行動権の三つをまとめて何というか。	
(5)　選挙などを通じて、国民が政治に参加する権利を何というか。	
(6)　権利を守ったり争いを解決したりするため、裁判所で裁判を受けられる権利は何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

自由権と社会権では、保障のために国に求められる役割がどのように異なるか。自由への干渉と、生活や教育の条件に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 基本的人権 新しい人権 国民の義務

問 4　新しい人権とその保障

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　必要な情報を受け取り、公的な情報の開示を求める権利を何というか。	
(2)　私生活に関する情報を、みだりに他人に知られたり公表されたりしない権利は何か。	
(3)　良好な環境で生活することを求める権利を何というか。	
(4)　生き方や自分の身体などの重要な事柄について、自ら決める権利を何というか。	
(5)　憲法第 13 条が生命・自由とともに尊重を求める、幸福を目指す権利は何か。	
(6)　行政機関が持つ情報を公開し、国民や住民が行政を確かめられるようにすることは何か。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

憲法に「プライバシーの権利」という名前が書かれていなくても、人権として重視されるのはなぜか。社会の変化と個人の尊重に着目して説明しなさい。

名前（　　）　日付　　月　　日

公民 基本的人権 新しい人権 国民の義務

問 5　国民の義務と権利の保障

一問一答　次の問いに答えなさい。

問題	解答欄
(1)　保護者が、保護する子に普通教育を受けさせるという、憲法上の義務は何か。	
(2)　憲法第 27 条が、勤労の権利とともに国民に定めている義務は何か。	
(3)　法律に従って税金を納めるという、国民の義務を何というか。	
(4)　互いの人権がぶつかる場合に、その矛盾や衝突を調整する原理を何というか。	
(5)　自分に不利益な供述を強要されず、話さないでいることができる権利は何か。	
(6)　国や地方公共団体などに、政治への要望などを平穏に伝える権利を何というか。	

記述　理由やつながりを考えて書きなさい。

憲法の「教育を受けさせる義務」は、誰が誰のために負う義務か。「教育を受ける権利」と結び付けて説明しなさい。

公民 基本的人権 新しい人権 国民の義務の解答

記述は解答例です。同じ内容が表されていれば、表現が異なっても正解とします。

問 1　人権の基本と分類

(1) 基本的人権　(2) 個人の尊重　(3) 法の下の平等
(4) 自由権　(5) 社会権　(6) 請求権

記述例　階段だけでは利用できる人とできない人が生じるため、必要な配慮をして、車いすの利用者にも施設を利用する機会を保障するため。

採点のポイント　同じ設備でも利用の機会に差が生じ、配慮でその差を減らすことを説明している。

補足　法の下の平等は平等権の基本。裁判を受ける権利や請願権は、請求権に分類される。

問 2　自由を守る権利

(1) 思想・良心の自由　(2) 表現の自由　(3) 信教の自由
(4) 身体の自由　(5) 経済活動の自由　(6) 財産権

記述例　自分の表現の自由だけでなく、他人の名誉やプライバシーも守る必要があり、互いの権利がぶつかる場合には調整が必要になるため。

採点のポイント　表現する側の自由と、他人の名誉やプライバシーを守る権利の調整を説明している。

補足　思想・良心の自由などは精神の自由に分類する。信教の自由には宗教を信じない自由も含まれる。

問 3　社会権と政治参加と裁判

(1) 生存権　(2) 教育を受ける権利　(3) 勤労の権利
(4) 労働三権　(5) 参政権　(6) 裁判を受ける権利

記述例　自由権では国の不当な干渉を防いで自由を守り、社会権では国が生活や教育などの条件を整え、人間らしい生活を保障することが求められる。

採点のポイント　不当な干渉を防ぐ役割と、生活や教育の条件を整える役割を区別している。

補足　勤労の権利は勤労権、労働三権は労働基本権でも可。労働三権は社会権に含まれる。

問 4　新しい人権とその保障

(1) 知る権利　(2) プライバシーの権利　(3) 環境権
(4) 自己決定権　(5) 幸福追求権　(6) 情報公開

記述例　情報化で私生活の情報が広まりやすくなるなど社会が変化し、個人の尊重や幸福追求権を基に、新たな問題から人々の生活を守る必要があるため。

採点のポイント　情報化による新たな問題と、個人の尊重に基づく人権の保障を結び付けている。

補足　新しい人権の名称は憲法に明記されていない。法的な保障の内容や範囲は、権利ごとに異なる。

問 5　国民の義務と権利の保障

(1) 教育を受けさせる義務　(2) 勤労の義務　(3) 納税の義務
(4) 公共の福祉　(5) 黙秘権　(6) 請願権

記述例　保護者が、保護する子どもの教育を受ける権利を保障するために、普通教育を受けさせる義務を負う。

採点のポイント　義務を負うのは保護者であり、子どもの教育を受ける権利を守るためであること。

補足　最初の三つが国民の三大義務。人権は、義務を果たした人だけに認められるものではない。